

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会  
杵島農業振興センター

「稲作情報（第4号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第4号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R5 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R5 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R5 (hr)	平年比 (%)
5月	1	17.6	17.5	-0.1	23.8	23.9	0.1	12.0	11.2	-0.8	27.2	13.5	50	30.9	33.3	108
	2	18.3	17.2	-1.1	24.5	22.9	-1.6	12.8	12.0	-0.8	29.3	111.0	379	30.5	30.7	101
	3	18.8	18.8	0.0	25.0	25.1	0.1	13.3	13.8	0.5	29.9	24.5	82	30.5	38.7	127
	4	19.5	20.4	0.9	25.7	25.8	0.1	14.0	16.3	2.3	25.1	25.0	100	30.7	25.3	82
	5	20.2			26.5			14.7			19.6			30.6		
	6	20.9			27.1			15.6			22.6			34.5		

○5月4半旬の平均気温は、平年に比べて0.9℃ほど高く推移した。また、まとまった降雨により寡照傾向となった。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：5月20日）

項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎数 本/n <sup>2</sup>	主 稈 出葉数L	葉色 SPAD	概 要
コシヒカリ	本 年 値	37.4	413	9.7	49.5	・草丈は平年に比べて低く、茎数は少ない。 (1株あたり茎数23~28本程度) ・主稈出葉数は、平年並み。 ・葉色は濃い。
	平 年 値	39.5	443	9.7	44.3	
	平年比(差)	9.5	9.3	±0.0	+5.2	

※ 平年値は、H25~R4年度の平均値、耕種概要は稲作情報N01参照

(管内の生育状況)

○現在、分けつ発生盛期である。有効茎を確保し、中干しの時期となっている。  
まもなく穂首分化期頃をむかえる。

3. 今後の管理（七タコシヒカリ）

(1) 水管理

○現在、中干しの時期を迎えており、有効茎（1株あたり20本程度の分けつ）が確保された圃場では、中干し作業に移行する。

- ・本年は、移植直後の強風の影響を受け初期分けつの確保ができずに生育量が小さい圃場を散見する。そのような圃場では、土壌表面が白乾し亀裂が深くないように落水状態を長めの対応とする。
- ・断続的な降雨により中干し作業が遅れないように注意する。

### ○中干しの実施時期の目安

→総葉数の7割～8割の葉が出た時の間、10葉期頃を中心に行う。

止葉までの葉数の69%～77%の葉が出た時期であり、七タコシヒカリでは9葉～10葉期にあたり、現在(5/20時点)がその生育ステージにあたる。

ほぼ有効分けつ決定期(株当たり小さい分けつまで20本)～穂首分化期(穂の基が茎の中で出来る時)である。

また、開始時期の目安は、移植時期によって異なるが、有効茎(1株あたり20本程度の分けつ)が確保でき、株が開張しておおむね草丈が35～50cmを目途に実施する。

### ○中干しの期間と程度(強弱)

中干し期間は、天候や土壌の種類、漏水の程度などによってちがってくるが、おおむね5～7日とする。

圃場の硬さの目安は軽く足跡が付く程度で、小さなヒビが入るくらいとする。

つまり「歩いて足跡が付くが、抵抗なく歩ける硬さ」が理想である。

また、手のひらが縦にはいるようなヒビ(強い中干し)は、強い断根を伴い稲にとってダメージが大きくなるので避ける。

令和5年産 水稻作付期間気象図  
アメダス観測値(白石)

